

## 小平市下水道プラン(令和2年度末実績)の概要について

### 1 計画の概要

#### (1) 計画の位置づけ

市の長期総合計画に示される将来都市像を実現することを目的とするとともに、下水道事業をとりまく環境及び市の下水道が抱える課題等を踏まえ、中・長期的な視点に立った市の下水道事業のあり方(方向性)を示した下水道における総合的な計画

#### (2) 施策の体系

4つの基本方針に対し、11の施策を定め、再掲を含め19の取組みを実施

#### (3) 計画期間

平成23年度から令和2年度までの10年間

(前期計画)平成23年度～平成27年度 (後期計画)平成28年度～令和2年度

### 2 重点施策における令和2年度末の実施状況

重点施策	取組	後期計画目標		令和2年度実績 上段:単年度実績 下段:累計	備考	評価
		目標	目標数値等			
施策Ⅱ-1 浸水対策	未整備地区における雨水管きよ整備	浸水被害歴がある地区の整備	浸水被害歴地区整備進捗率:100%	2.1% ・ 累計:100% (124.06ha/124.06ha)	【R2末実績 P.5、14】 大沼町1丁目、2丁目、4丁目、花小金井5丁目 (5か所、整備面積8.21ha(うち浸水被害歴地区2.49ha))	達成 
			雨水管渠整備率:21.1%	1.3% ・ 累計:21.8% (142.4ha / 654.6ha)		
施策Ⅱ-2 地震対策	下水道施設の地震対策	避難所へのマンホールトイレの設置	避難所におけるマンホールトイレ設置率:100%	0% ・ 累計:100% (38箇所/38箇所)	【R2末実績 P.6、16】 令和2年度実績なし(平成30年度末目標達成)	達成 
施策Ⅱ-3 施設の老朽化対策	計画的な点検・調査の実施	対策優先順位が高い地区の点検・調査の実施	点検・調査延長: 105km	23.8km ・ 累計:106.4% (111.7km/105km)	【R2末実績 P.6、17】 上水南処理分区(点検・調査延長23.8km)	達成 
	施設の長寿命化	事業計画 <sup>※1</sup> における選定路線の長寿命化対策	鈴木処理分区の長寿命化対策達成率:100%	18.0% ・ 累計:122.4% <sup>※2</sup> (4,250.6m/3,472m)	【R2末実績 P.6、18】 学園東町、学園東町1丁目・2丁目・3丁目、学園西町3丁目、鈴木町1丁目、(対策延長626.2m)	達成 

※1 下水道長寿命化計画。本計画の策定は、社会資本整備総合交付金制度における下水道長寿命化事業に対する国費交付要件とされている。小平市では、鈴木処理分区について、平成26年度及び平成27年度の調査結果を踏まえ、下水道長寿命化計画を策定し、平成27年度末に国及び都に提出している(対策延長3,472m)。

※2 下水道長寿命化計画策定後の詳細設計の結果、一部の路線を修繕から改築に切り替えたことより、対策延長が増となった。

### 3 各施策における令和2年度末の実施状況

再掲を含め 19 の取組中 18 の取組について目標を達成

[未達成 1 施策 I -1 汚水処理対策(1)土地区画整理事業や道路整備等の開発に併せた管きよ整備]

後期計画総括表（基本方針 I . 環境に配慮したまちづくり）

基本方針	施策	後期計画期間 (H28～R2) 目標		後期計画期間の主な成果	令和2年度末成果	評価
		目標	目標数値等			
I 環境に配慮したまちづくり	1 汚水処理対策	(1)土地区画整理事業や道路整備等の開発に併せた管きよ整備 【R2末実績P.3、9】	目標 開発に併せた遅滞ない整備	○都道拡幅及び都市計画道路整備に伴う新設管きよの設置を実施しました。 ○後期整備予定としていた5路線中、2路線について整備が完了しました。また、計画策定後に整備対象となった、土地区画整備事業1路線を実施しました。	整備路線 3路線 (累計)	未達成 
		(2)未接続家屋の解消（下水道への接続依頼） 【R2末実績P.3、9】	目標 下水道への接続促進	○長期不在で詳細が不明な家屋、水洗化されている可能性が高い家屋を中心に、戸別の聞き取り調査及び排水設備の実態調査を実施しました。 ○平成27年度末から0.7ポイント向上し、一定の取り組み効果が見られます。 (令和2年度末：105件(221人))	水洗化率 99.9%* (累計)	達成 
	2 合流式下水道改善対策	(1)雨水浸透施設の設置 【R2末実績P.3、10】	目標 関係各課等との連携による雨水浸透ますの設置	○前期計画から継続した取り組みを実施し、後期計画の目標設置基数を設置完了済みです。	雨水浸透ます設置数 100基 (累計)	達成 
			目標数値等 下水道課雨水浸透ます設置基数：100基 (H28～R2、年間20基程度)			
	3 雨水浸透対策	(1)雨水浸透施設の設置促進 【R2末実績P.4、11】	目標 関係各課等との連携による設置促進	○令和2年度末で、下水道課設置の雨水浸透ますの設置浸透量117m <sup>3</sup> /hrを達成しました。 ○その他、市民の皆様への雨水浸透ますの設置費用の助成を行い、浸透施設の設置促進を図っています。	浸透量 117m <sup>3</sup> /hr (累計)	達成 
			目標数値等 下水道課雨水浸透施設設置浸透量： 約117m <sup>3</sup> /hr ※1.17m <sup>3</sup> /hr×20基×5年			
	4 資源の有効利用	(1)雨水貯留施設の設置促進 【R2末実績P.4、12】	目標 関係各課等との連携による設置促進	○新規公共施設への雨水貯留施設への設置を実施しました。	雨水貯留施設設置数 4件 (累計)	達成 
			目標数値等 新規公共施設への雨水貯留施設の設置	※いずれも、資源の有効利用の観点から、トイレの洗浄及び散水等の中水道として利用しています。		
	(2)下水道資源(再生水、下水汚泥建設資材等)の利用促進検討等 【R2末実績P.4、12】	目標 東京都との連携による再生水の利用継続 下水道工事への下水汚泥建設資材の利用継続	○東京都との連携により野火止用水や玉川上水等への再生水の送水を行っています。 ○下水道管きよの築造工事に汚泥焼却灰を使用した鉄筋コンクリート管を採用しました。 (平成25年度以降の鉄筋コンクリート管のうち、全てで汚泥焼却灰使用のものを利用しています)	再生材利用率 100%	達成 	
		目標数値等 再生材利用率：100%				
5 施設の適正管理	(1)下水道台帳（電子化）等による施設管理 【R2末実績P.4、13】	目標 システムの継続的な活用	○既存のシステムを廃止し、タッチパネル方式で閲覧できる新規下水道台帳システムの構築と、自由に印刷できる課金機を設置しました。 ○新規下水道台帳システムの機能として、インターネット閲覧を併せて構築し、閲覧者の利便性を図るとともに、長寿命化対策等の管路調査、改築工事、修繕などのデータの取り込みや、台帳データの更新等を職員が容易にできるシステムを構築しました。	管路調査成果の取り込みが可能な、新システムの構築完了 (H30)	達成 	
		目標数値等 管路調査成果の取り込み（システム機能拡充）				
(2)管きよのつまり、臭気対策の実施 【R2末実績P.4、13】	目標 下水道への排出に対するPR及び定期的な点検の実施	○市報やホームページ等によるPR（油・断・快適！下水道）を実施しました。 ○これまでロード詰まりのあった店舗及び詰まりの可能性のある店舗について、公共汚水ます、排水設備及び周辺のマンホールの点検を行うとともに、各店舗にロード処理に関する定期的な清掃を依頼しました。	PR・点検等実施回数 H28：6回 H29：4回 H30：6回 R元：6回 R2：7回	達成 		
目標数値等 PR実施回数：3回/年						

注1. ★は下水道プラン計画初年度の平成23年度以前からの数値を含む累計

注2. 評価 達成：目標を達成したもの 未達成：目標を達成できなかったもの

後期計画総括表（基本方針Ⅱ. 安心して暮らせるまちづくり）

基本方針	施策	後期計画期間 (H28～R2) 目標	後期計画期間の 主な成果	令和2年度末 成果	評価	
Ⅱ 安心して暮らせるまちづくり	1 浸水対策 <b>重点施策</b>	(1)未整備地区における雨水管きよ整備 【R2末実績P.5、14】	目標 浸水被害歴がある地区の整備	○令和2年度末までに浸水被害地区における管きよ整備が完了しました。 ○分流域全体の目標については、令和2年度末で21.8%となり、後期目標の21.1%を上回りました。	浸水被害歴地区整備進捗率  100%★ (累計)  (雨水管きよ整備率 21.8%★ (累計))	達成 
		目標 数値等 浸水被害歴地区整備進捗率：100% (雨水管きよ整備率：21.1%)				
		(2)雨水貯留・浸透施設の設置促進 【R2末実績P.5、15】	目標 関係各課等との連携による設置促進	○流出抑制施設に係わる関係各課との連携のもと、雨水貯留施設及び浸透施設の設置を促進しています。(I-2 合流下水道の改善対策、I-3 雨水浸透対策、I-4 資源の有効利用に同じ)	—	達成 
	(3)市民等との連携(被害軽減に対する取り組み) 【R2末実績P.5、15】	目標 関係各課等との連携による浸水に対する情報提供や水防演習等の継続的な実施	○関係各課等との連携による浸水に対する情報提供や水防演習等を実施しました。  ※令和元年度は、台風19号の影響で、応急給水訓練が中止となりました。	水防演習等の実施回数  H28：3回 H29：4回 H30：4回 R元：2回 R2：4回	達成 	
		目標 数値等 水防訓練等の実施回数：3回/年				
	2 地震対策 <b>重点施策</b>	下水道施設の地震対策 【R2末実績P.6、16】	目標 避難所へのマンホールトイレの設置	○避難所38箇所(マンホールトイレ314基)を設置しました。 ○平成26年度～平成30年度の5年度で、市内の全避難所39か所への災害用マンホールトイレ設置完了を目指す(後期計画期間では28か所設置予定)。  ※平成30年度設置予定であった小川西町公民館については、公共施設再編の基本計画の方針(令和元年度)により、設置の可能性がなくなったことから、設置可能な施設は全て完了し目標を達成しました。	マンホールトイレ設置率  100%★ (累計)	達成 
目標 数値等 避難所におけるマンホールトイレ設置率：100%						
3 施設の老朽化対策 <b>重点施策</b>	(1)計画的な点検・調査の実施 【R2末実績P.6、17】	目標 対策優先順位が高い地区の点検・調査の実施	○平成25年度に策定した小平市下水道長寿命化基本構想に基づき、平成26年度から老朽化対策を目的とした下水道管路施設の点検・調査を実施しました。 ○令和2年度は、令和元年に策定した小平市下水道ストックマネジメント実施方針に基づき、次期対策区域内において下水道管路施設の点検・調査を実施しました。 ○平成28年度から令和2年度までの累計延長で111.7kmとなりました。	点検・調査延長  111.7km★  H28：25.9km H29：21.3km H30：12.5km R元：28.2km R2：23.8km	達成 	
		目標 数値等 点検・調査延長：105km(H28～R2)				
(2)施設の長寿命化 【R2末実績P.6、18】	目標 事業計画における選定路線の長寿命化対策	○平成27年度に策定した、鈴木処理分区の長寿命化計画(計画期間：H28～R2、対策延長：3,471.9m)に基づき、平成28年度から鈴木処理分区の対策工事に着手しました。 ○令和2年度までに、4,250.6mの改築工事を完了しました。  ※下水道長寿命化計画策定後の詳細検討の結果、一部の路線を修繕から改築に切り替えたことより、対策延長が増となりました。	長寿命化対策達成率  122.4%★ (累計)	達成 		
	目標 数値等 長寿命化対策達成率：100%(事業計画対象路線)					

注1. ★は下水道プラン計画初年度の平成23年度以前からの数値を含む累計

注2. 評価 達成：目標を達成したもの 未達成：目標を達成できなかったもの

後期計画総括表（基本方針Ⅲ. 環境意識が高いまちづくり 基本方針Ⅳ. 下水道経営基盤の強化）

基本方針	施策	後期計画期間 (H28～R2) 目標		後期計画期間の主な成果	令和2年度末成果	評価
Ⅲ 環境意識が高いまちづくり	1 環境学習の継続 【R2末実績P.7、19】	目標	下水道事業への取り組みについてのPRの促進及び市民意見聴取	○イベント・展示情報等について、「ふれあい下水道館」ホームページにて情報発信を実施しました。 ○東京開催の下水道展において、ブースを出展し、市の下水道事業に対してPRを行いました。	ホームページへの掲載回数 H28：40回 H29：50回 H30：43回 R元：41回 R2：24回	達成 
		目標数値等	ホームページによる下水道事業、イベント・展示情報等の情報発信：24回/年			
Ⅲ 環境意識が高いまちづくり	(2)「ふれあい下水道館」の活用 【R2末実績P.7、19】	目標	イベントの開催や展示の実施	○「ふれあい下水道館」において、各種イベント・展示や学習講座、特別講話会を実施しました。 ○ふれあい下水道館については、令和元年度に来館者数50万人を達成したところであり、多くの方に来館していただいています。  ※令和2年度は、4月から7月まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各種イベント等を中止しました。	イベント等開催回数 H28：40回 H29：40回 H30：46回 R元：47回 R2：25回  《参考》 来館者数 H28：20,775人 H29：19,815人 H30：23,080人 R元：22,141人 R2：15,590人	達成 
		目標数値等	イベント等の開催回数：24回/年			
Ⅳ 下水道経営基盤の強化	1 経営の効率・健全化 【R2末実績P.8、20】	目標	中長期的財政見通しに基づいた計画的な財政運営	○経営課題の整理・財政シミュレーションについて検討を行い、令和2年度末に今度10年間の経営方針を示す「経営戦略」を策定しました。	経営戦略策定 (R2)	達成 
		目標数値等	経営戦略の策定			
Ⅳ 下水道経営基盤の強化	(2)公営企業会計への移行検討 【R2末実績P.8、20】	目標	公営企業会計への移行	○地方公営企業法適用に伴い、必要となる条例・規則の制定及び改正等を行いました。 ○公営企業会計に係る新たな財務会計システムを構築し、令和元年度及び令和2年度の予算編成及び予算執行を行いました。	移行完了 (R1)	達成 
		目標数値等	平成28年度より移行準備令和2年4月までに移行			
Ⅳ 下水道経営基盤の強化	2 収入の適正化 【R2末実績P.8、21】	目標	下水道への接続促進による下水道使用料収入の増加	○長期不在で詳細が不明な家屋、水洗化されている可能性が高い家屋を中心に、戸別の聞き取り調査及び排水設備の実態調査を実施しました。 ○平成27年度末から0.7ポイント向上し、一定の取り組み効果が見られます。 (令和2年度末：105件 (221人))	水洗化率 99.9%★ (累計)	達成 
		目標数値等	未水洗家屋の調査及び現状分析 (H26末件数：745件)			
Ⅳ 下水道経営基盤の強化	(2)将来的な収支の見通しを踏まえた下水道使用料金の検証 【R2末実績P.8、21】	目標	収支改善による経営回収率 (污水处理費回収率) の向上	○引き続き、下水道事業債の償還額の減少 (污水处理費の減少) により、経費回収率 (污水处理費回収率) を100%以上維持しています。	経費回収率 (污水处理費回収率) 126.6%★	達成 
		目標数値等	経費回収率 (污水处理費回収率)：100%以上を維持			

注1. ★は下水道プラン計画初年度の平成23年度以前からの数値を含む累計

注2. 評価 達成：目標を達成したもの 未達成：目標を達成できなかったもの